

宮城大学長の業務執行状況の確認結果について

令和 8 年 1 月 23 日
公立大学法人宮城大学学長選考会議

公立大学法人宮城大学学長選考会議では、佐々木啓一学長の任期が 2 年を終了したことから、学長の業務執行状況の確認に関する基準（平成 28 年 5 月 24 日学長選考会議決定）に基づき、書面、ヒアリング等を通じて、業務執行状況の確認を行った。

その結果は、下記のとおりである。

記

佐々木学長は就任以来、建学の精神・理念を踏まえ、教員・学生の意識向上、教育研究・産学連携の強化に向けて、優れたリーダーシップを発揮し、業務を適切に執行しているものと認められる。

学長選考会議としては、佐々木学長に対し、引き続き宮城大学長として、大学改革等の諸課題に取り組んでいただくことを期待する。

（学長選考会議における主な所見）

- ・ 宮城大学長就任以来、地域の大学としての役割や地域への貢献、地域課題に取り組むといった宮城大学の方向性が明確化され、大学全体に新たな動きと刺激をもたらした。
- ・ コミュニケーション能力が高く、教員との関係性は良好である上、積極的な関与姿勢により、大学改革を含む学内外の活動に取り組んでいる。
- ・ 今後も積極的な活動を通じながら、描いている大学像の実現に向けた取組に期待する。